



ホームバス 取付設置説明書

型 式

HK-1172/1272E7-1L-L/R

設置をされる方へのお願い

- この浴槽を正しく安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよくお読みいただき、指定された設置を行ってください。
- 「取扱説明書」(保証書付)は、お客様に必ずお渡しください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 当社の定める設置要領を逸脱しない据付に不具合(瑕疵)が生じ、設置者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BL保険制度の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<https://www.cbl.or.jp/>)に掲載しているBL保険の手引をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング(TEL 03-5211-0559)でもお受け致します。
- この浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。
- 取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。
その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。
なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎表示マークについて

表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

**注意**

この表示の欄は「軽傷を負うことや物的損害のみが発生することが想定される」内容です。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

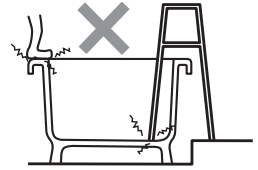
絵表示	意 味
	気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全上のご注意

注意



浴槽の上に乗って作業をしないでください。
足をすべらせたり、浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。



浴槽固定金具は、指定された位置に必ず取付けてください。
また、浴槽設置時に浴槽の縁を固定金具に確実に挟み込んでください。
浴槽が転倒してけがをするおそれがあります。



浴槽に組込まれる水栓金具や循環パイプの接続金具は、それぞれの
説明書にしたがって、正しく取付けてください。
取付けが不完全な場合、水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりし
ます。



給排水管の接続は、必ずシールをしてください。
水漏れにより家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。



取付設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに
記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。
誤った使い方をすると人体に影響がでたり、使用部材の劣化や損傷の
原因になることがあります。

取扱・設置上のご注意

注意



浴槽の運搬は二人以上でしてください。
浴槽を落として破損するおそれがあります。



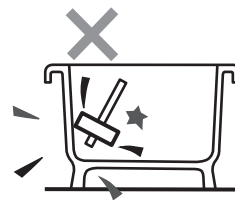
運搬中に浴槽をぶつけないでください。
傷が付いたり、破損するおそれがあります。
特に排水口部分は、破損すると水が漏れるので注意してください。



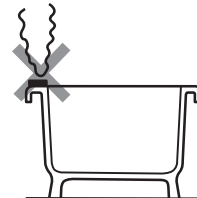
浴槽はガタつかないように、必ず水平に設置してください。
浴槽が転倒してけがをしたり、浴槽内に水が残る場合があります。
また、脚部の水平調整は、強度のある材料で行ってください。



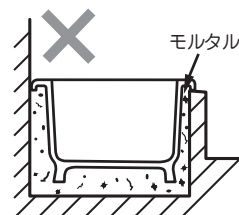
浴槽にものを落とさないでください。
傷が付いたり、ヒビが入って水が漏れ、家財を汚したり、腐らせたりします。



浴槽に火をあてないでください。
表面が変色したり、劣化を早めるおそれがあります。



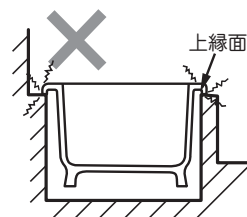
浴槽周囲にモルタル・砂などをつめないでください。
浴槽が傷む原因となります。



浴槽表面やエプロンをタイル洗いの塩酸などを含んだ洗剤や、その他の溶剤で拭かないでください。
表面が傷みます。
もし、かかった場合はすぐに水で洗い流してください。



上縁面で浴槽を支える設置をしないでください。
浴槽に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。



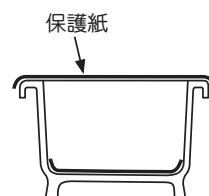
浴槽は据置き用です。
埋め込み設置はしないでください。



排水栓の下に物を置かないでください。
排水栓が閉まらなくなり、水漏れを生じるおそれがあります。



取付設置中は浴槽におおいをし、保護してください。
傷が付くおそれがあります。



仕 様 に つ い て



注意

- ・本記載内容をよくお読みいただき設置してください。
- ・エプロンサポートを持って浴槽を取扱わないでください。
エプロンサポートまたは浴槽が破損するおそれがあります。

■ 付属品

	 浴槽固定金具 -1 浴槽固定金具 -2	
エプロン × 1	浴槽固定金具 1,2 × 各2	AYボルト × 4
平座金 × 4	M4 × 8 小ネジ × 4	φ4×16 薄板用タッピンネジ × 4
取付設置説明書 × 1	取扱説明書(保証書付) × 1	フロフタ × 1
混合水栓 × 1 (P8を参照してください)		

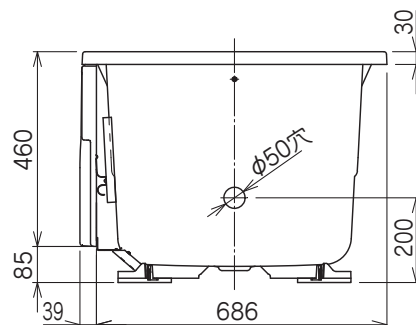
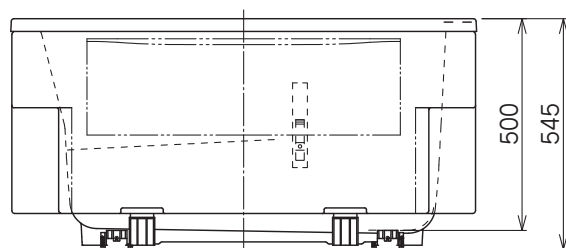
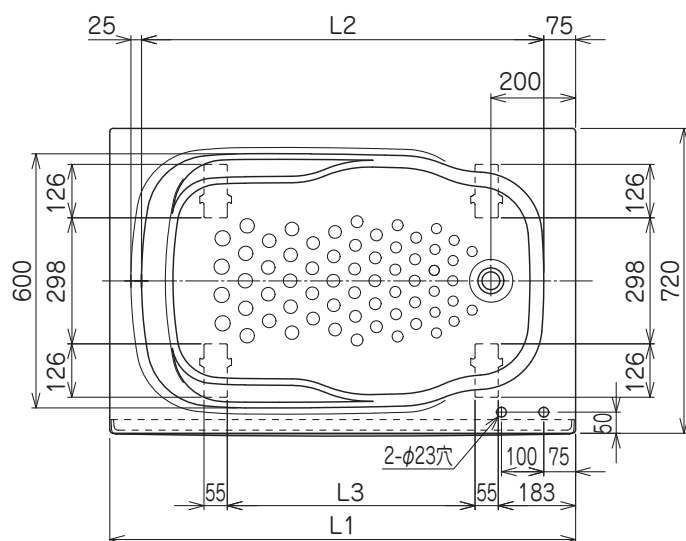
■ 仕 様

型 式	HK-1172E7-1L-L/R	HK-1272E7-1L-L/R
外形寸法	幅 1100 × 奥行 720 × 高さ 545	幅 1200 × 奥行 720 × 高さ 545
満水容量	220L	250L
フ タ	CL-1103GR7	CL-1203GR7

■ 寸 法

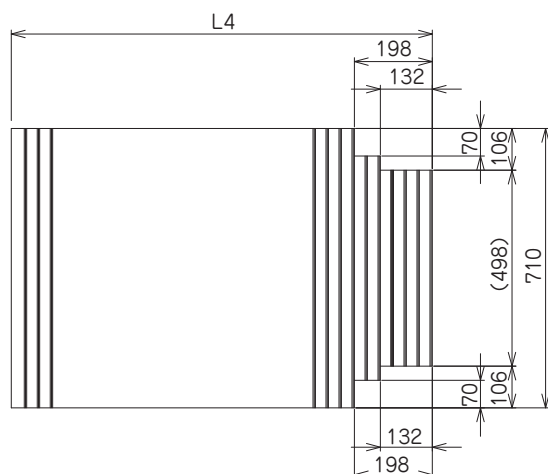
●浴槽

(単位: mm)



- ・上図は、E7-1L-R(右)の例を示します。
- ・本製品には、アジャストカバーは付属していません。
- ・上図中のL各寸法は、下表を参照してください。

●フロフタ



- ・上図中のL寸法は、下表を参照してください。

型式 \ 寸法	L1	L2	L3	L4
HK-1172- ※	1100	950	585	1070
HK-1272- ※	1200	1050	685	1170

設 置 に つ い て

■ 設置前のご注意

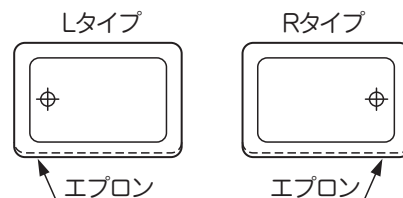
● 浴槽寸法の確認

浴槽寸法、出入口の寸法が浴槽据付・搬入できる寸法が確認してください。

● 左右の選定

浴槽には排水口の位置により、右図のようにLタイプ(左)、Rタイプ(右)があります。

据付場所に合わせて機種を選定してください。



■ 設置手順のフローシート

● 標準的な設置は次の手順で進めます。

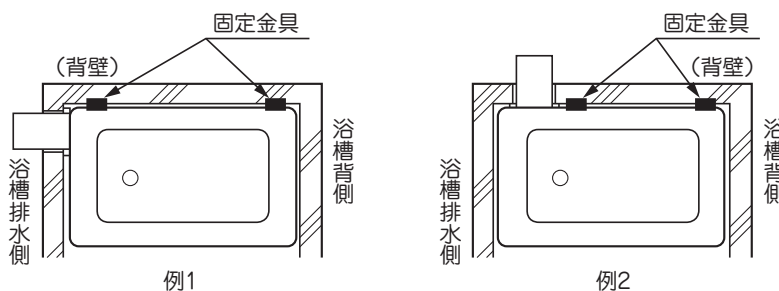


■ 浴槽固定金具の取付け

* 浴槽の脚下に別売の脚スペーサーやゴム脚を入れる場合、穴位置高さは記載寸法に板厚分をプラスしてください。(別売の脚スペーサーの板厚は50mm、ゴム脚の板厚は3mmです)

- ・ 浴槽を固定するために、浴槽の背壁に2個の固定金具を取付けます。
固定金具は、カベピタ給湯付風呂釜を避けて取付けてください。(下図参照)

● 取付例



- ・ 固定金具は、下図記載の範囲内で取付けてください。

※カベピタが浴槽背側に設置される場合もあります。

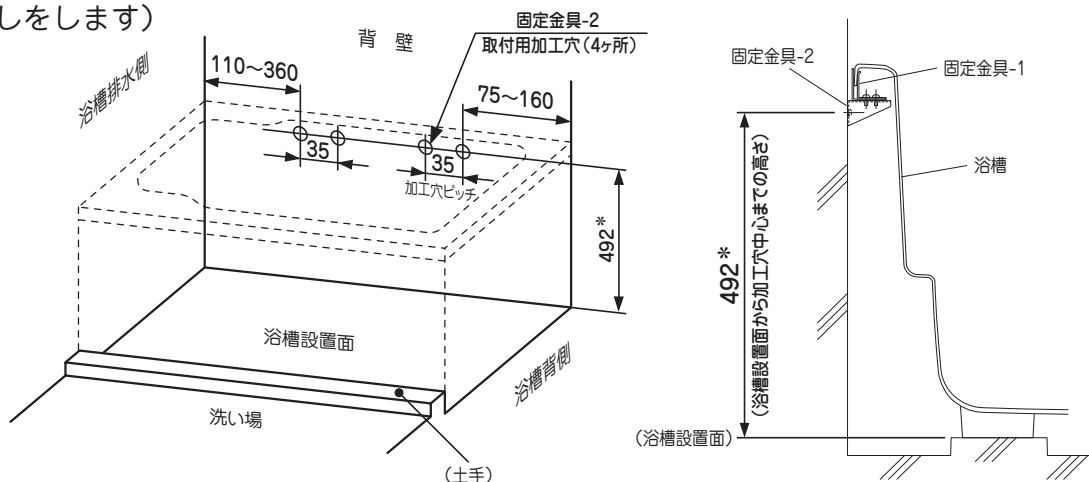
カベピタが上図例2の浴槽長辺の反対側に設置される場合もあります。

その場合、固定金具は左右対称に取付けます。

● 取付範囲(穴加工位置:Lタイプの場合)

固定金具-2(2個)を壁に取付けるために、下図の通り穴加工をします。

(壁材がユニット壁(薄板鋼板壁)の場合は、下図の取付用加工穴位置にケガキをし、ポンチで芯出しをします)



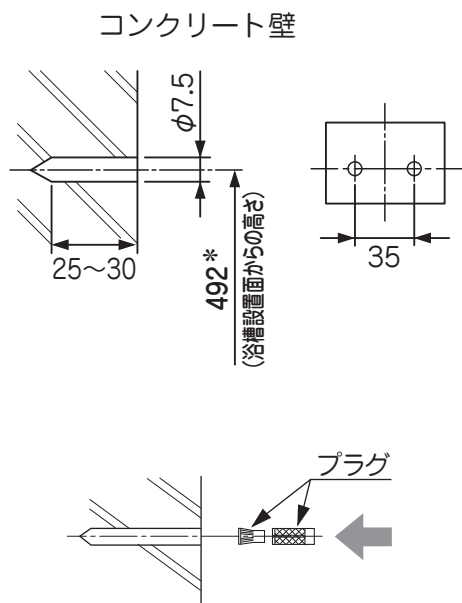
注意

浴槽固定金具を取付けずに浴槽を設置すると、浴槽が転倒するおそれがあります。
また、指定以外の位置に固定金具を取付けると、浴槽が転倒、破損するおそれがあります。

(1) 取付け準備

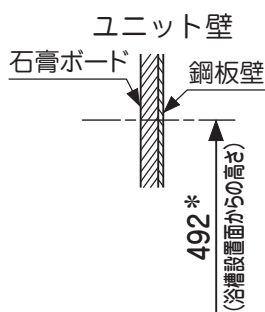
●コンクリート壁の場合

φ7.5のドリルを用いてAYボルト取付け用下穴をあけて、取付穴にAYボルトのプラグを挿入してください。



●ユニット壁（薄板鋼板壁の場合）

取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

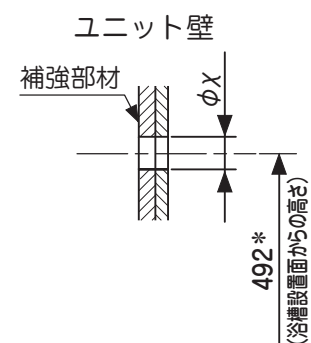


取付には、付属のφ4×16薄板用タッピンネジを4本使用します。

⚠ 他のネジを使用すると固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。

●ユニット壁（裏打ちの補強部材ありの場合）

木ネジもしくはユニット壁用アンカーを用いて固定します。



※1. 木ネジを用いる場合は、取付部にケガキをし、ポンチで芯出しをしてください。

※2. ユニット壁用アンカーを用いる場合は、使用するアンカーに適した寸法の下穴をあけてください。(φχ)



ユニット壁用アンカーイメージ図

⚠ 水が穴に入らないよう、穴入口及びボルト（ネジ）頭にシリコンコーキングを塗布してください。

⚠ 注意

- ・ユニット壁（薄板鋼板壁）に同梱以外のネジで固定した場合、固定金具がずれたり、外れたりして浴槽が転倒するおそれがあります。
- ・ユニット壁に指定以外の径で穴をあけた場合、ユニット壁用アンカーが挿入不良となり、浴槽が転倒するおそれがあります。

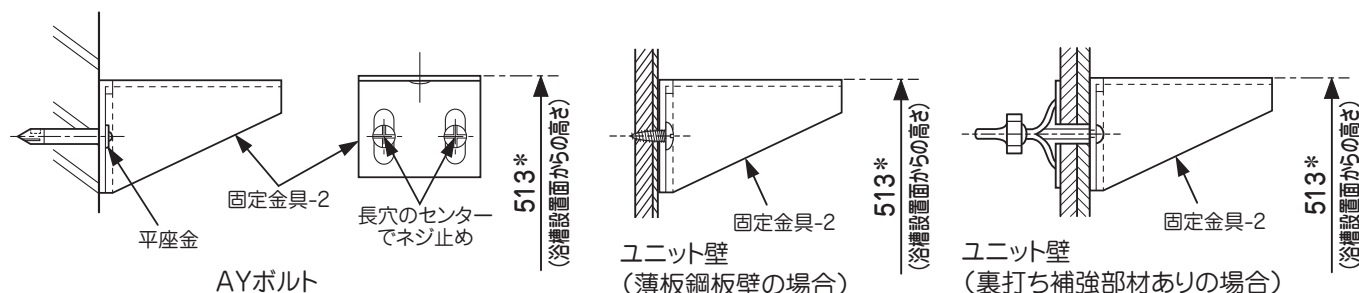
(2) 固定金具-2の取付け

・固定金具-2の長穴のセンターとネジ穴を合わせ、付属のネジ及び平座金で固定金具-2を取付けてください。

・ユニット壁（薄板鋼板壁）への取付の際には、薄板用タッピンネジの先端部を電動ドライバーでユニット壁にねじ込んだ後、手回しドライバーで締め込んで固定してください。

※ユニット壁（薄板鋼板壁）への取付の際には、電動ドライバー（インパクトドライバー等）で最後まで締めつけないでください。ネジが空回りするおそれがあります。

※取付け高さにズレが生じた場合は、長穴を利用して高さ寸法を調節してください。

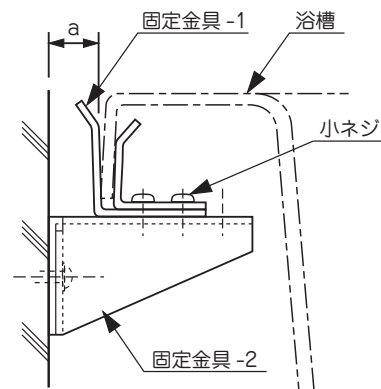


(3) 固定金具-1の取付け

- ・浴槽と壁との隙間aを確認してください。
a寸法 = 壁から固定金具-1の取付寸法となります。
壁面に風呂釜等があり、浴槽と壁との間に隙間aが生じる場合は、右図に示すa寸法に固定金具-1を合わせ、小ネジで固定金具-2に取付けてください。
壁面と浴槽との隙間が生じない場合は、a寸法を最小(5mm)としてください。

◆右図が固定金具の標準取付けです。
固定金具-1の長穴と、固定金具-2のネジ穴との組み合わせを工夫することにより、固定金具-1の取付け位置を調整することができます。

a：浴槽と壁との隙間＝固定金具-1取付け寸法



固定金具-1 調整範囲：5～41mm

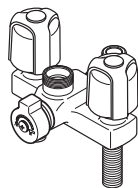
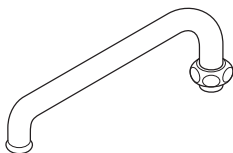
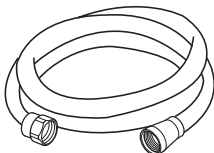
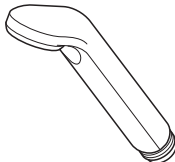
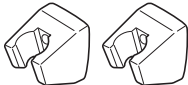


注意

固定金具-1と-2の接合には、必ず2本の小ネジを使って取付けてください。
1本の場合、固定金具-1が回転し、浴槽が外れるおそれがあります。

■ 混合水栓取付け

● 付属品の確認

			
本体 × 1	吐出口 × 1	シャワーホース × 1	シャワーヘッド × 1
			
シャワーハンガー × 2	シャワーハンガーキャップ × 2	固定ビス × 4	説明書 × 1
			
固定パッキン × 2	菊座金 × 2	締付ナット × 2	

※水栓に付属されている「説明書」も必ず確認のうえ、取付を行ってください。

●シャワーハンガーの取付け

(1) 下図の取付位置を参考に、浴室壁面シャワーハンガーを固定ビス2本で取付けてください。

※浴室壁面へのシャワーハンガー取付けには別途カールプラグ

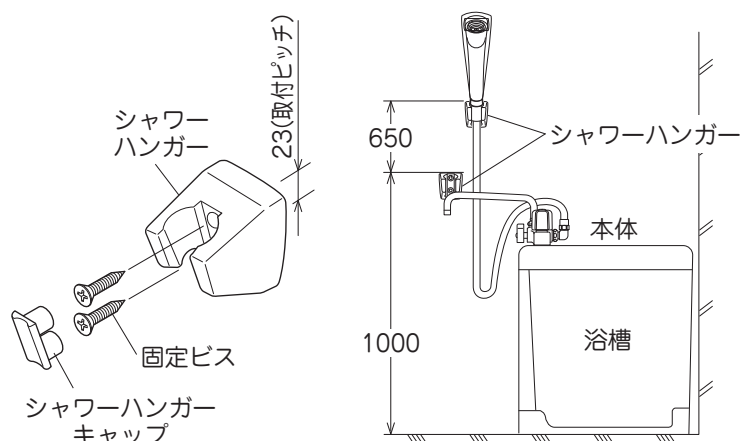
(呼径10、長さ20(下穴用ドリル径はΦ6.4))を用意してください。



注意

- ・ビスの締付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ・ドリルでの壁面穴開けに際して水道管、ガス管など十分に注意してください。

(2) シャワーハンガー固定後、キャップを取付けてください。



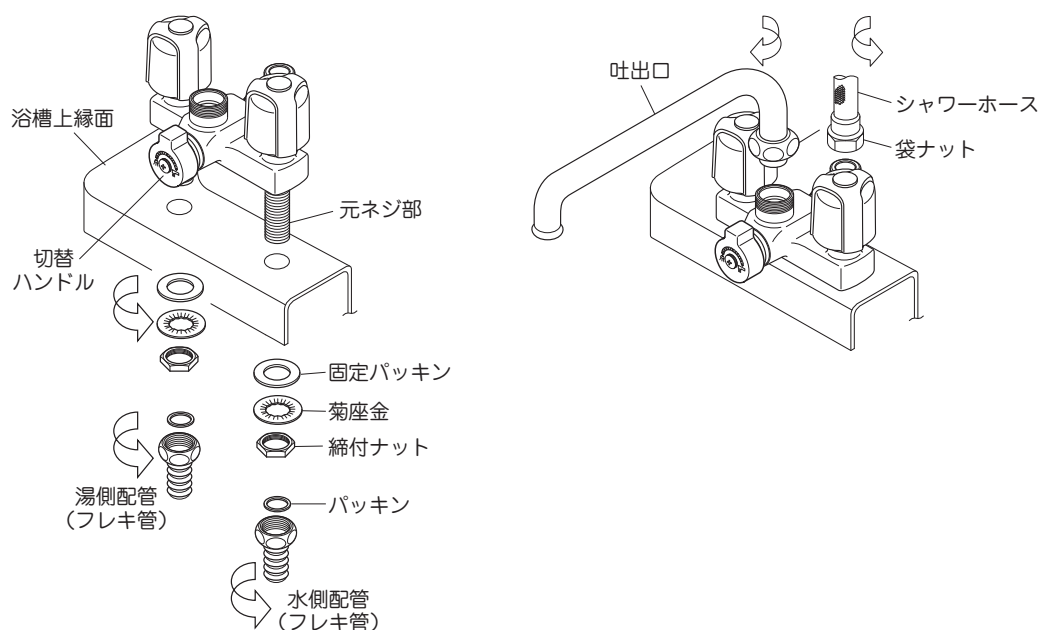
●混合水栓の取付け

(1) 切替ハンドルが浴槽の外側(洗い場)を向くように、水栓本体の元ネジ部を浴槽上縁面の穴に差し込んでください。

(2) 固定パッキン、菊座金、締付ナットを用いて固定してください。

(3) 元ネジ部に湯・水配管を接続してください。

(4) 吐出口とシャワーホースを取付けてください。

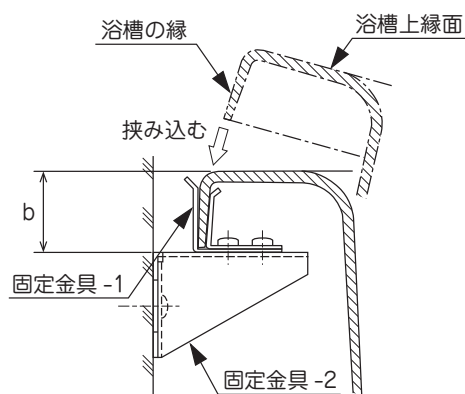
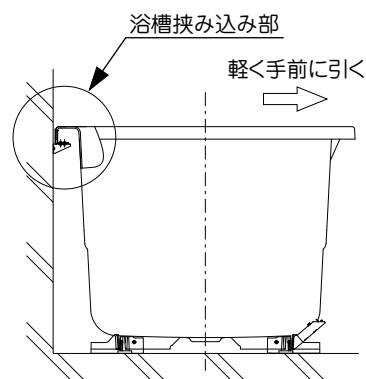


注意

寒冷地の給水配管には、混合水栓上流側の水抜き可能な位置に、必ず逆流防止装置を設けてください。

■ 浴槽設置

- ・ 浴槽を所定の位置に上から静かに設置します。
設置の際、浴槽の縁を必ず固定金具に挟み込んでください。
- ※ 設置後、浴槽を軽く手前に引き、浴槽の縁が確実に固定金具に挟み込まれていることを確認してください。
- ・ 脚が浴槽設置面に載っていることを確認してください。
- ・ 浴槽上縁面と固定金具 -2 の上面の距離 b が $31.5 \sim 34.5\text{mm}$ であることを確認してください。
 b 寸法が上記範囲外の場合は、浴槽を一旦外し P.7～8 を参考に固定金具 -2 の長穴を利用して金具の高さ方向の寸法で調整してください。



浴槽挟み込み部詳細

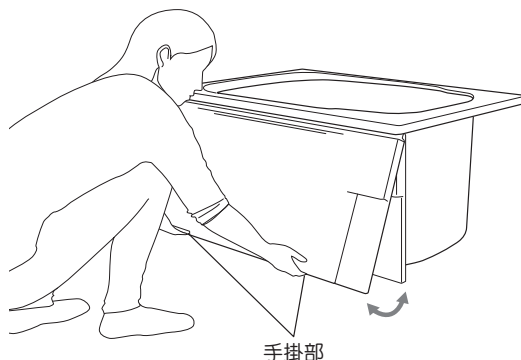


注意

浴槽の縁を固定金具に挟み込まないと、浴槽が転倒するおそれがあります。
浴槽の縁の固定金具への差込寸法が適切でないと、浴槽が転倒するおそれがあります。

■ 浴槽にエプロン取付け

エプロン下端を持ち、エプロン上端を浴槽フランジ部に差し込み、上方に持ち上げた状態で、下端の手掛部を浴槽側に押込みます。
前後左右に軽く力を加えて外れないことを確認します。



■ 確 認

❗ 設置完了後、必ず確認してください。

(1) 浴槽設置状態の確認

浴槽本体にガタツキがなく、水平に設置されているか確認してください。

浴槽の前後左右に荷重をかけ、浴槽が固定金具に掛かっていることを確認してください。

(2) エプロン固定状態の確認

浴槽フランジ部とエプロン両端にズレがないか確認してください。

エプロンにガタツキがないか確認してください。

(3) 清掃

浴槽内のゴミや異物を取り除いてください。

(4) 水漏れの確認

給水、排水を行い、風呂釜取付け部等から水漏れのないことを確認してください。

(5) 引き渡し

お客様に正しい使い方をご説明の上、保証書にお買上げ日、型式、販売店名を記入し、取扱説明書を必ずお渡しください。

■ 設置店様へ

取り替え等で古い浴槽を処分する場合は、浴槽の材質を確認してください。

その後、許可を受けている処理業者に処分を依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処分してください。

なお、行政の条例等で処理方法が定められている場合は、そちらの指示に従ってください。

株式会社 ハウステック

〒 370-0841 群馬県高崎市栄町 1-1

734S1798XF